



学校図書館だより

平間小学校 館長 石井芳宏 No.22 令和8年度5月

学校図書館とは

学校図書館とは「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての役割を兼ね備えた拠点です。

本校は学校司書(南部ひとみ)配置6年目となり、楽しく読書ができる環境が整いました。今後は学習支援に力点をおき努力してまいります。

今年度からはタブレット端末を活用しての図書も読めるようになりました。より本に触れる機会が増えましたので読書の幅が広がることでしょう。

ひと手間加えて

わからないことをそのままにせず、すぐにスマホや AIで調べようとする姿勢はとても良いことです。しかし、残念なことに人間の脳は苦勞せずに入手した情報はすぐに忘れてしまうという性質があるそうです。これを「デジタル性健忘」というそうです。

また「検索すればいい」だけで終わらせず、知識として定着させてほしいと願っています。その方法の一つとして、紙の辞書や図鑑を手に取り確認することで脳の記憶に刻まれるといえます。デジタル検索した情報を紙にメモしたり、誰かに説明したりといった「ひと手間」を惜しまず、取り組んでみましょう。

参考:朝日新聞朝刊 '26.4.28

図書ボランティア

本校では20年以上続く図書ボランティア「おはなしパン」が読書活動のお手伝いをしてくださっています。読み聞かせをはじめ、パネルシアターや大型めくり絵を制作上演し、学習支援にも協力してくださっています。それらの活動が認められてこの度「子供の読書活動優秀実践団体」として、「文部科学大臣賞」を頂くことができました。今後もこれを励みにより頑張ってください。

興味関心をもたれた保護者の方がいらっしゃいましたら一緒に活動してみませんか？本校のホームページのおはなしパンのタブからも情報が得られます。